

活動終了報告書（要約）

採択年度	令和 4 年度
コード番号	22-A-346

団 体 名	特定非営利活動法人 Piece of Syria	申請額
		1,000,000 円
		助成額(受領額)
		1,000,000 円
事 業 名	シリア北西部の幼稚園支援から始める平和の土台作り	事業地(国名)
		シリア、トルコ、 日本

組 織 及 び 事 業 概 要

■ 組織概要〈創立年、趣旨、主な活動等〉 * 300 字以内

2011 年以降戦争が続くシリアの現状を受け、シリアの平和構築・復興に寄与することを目的に 2016 年に任意団体として設立。2021 年に NPO 法人化。「シリアをまた行きたい国へ」をビジョンに掲げる。かかる目的を達成するために、支援が届きにくい地域に住む子どもたちを対象にした教育支援事業と、戦争前のシリアの状況や本来持っている文化的な魅力について伝えることを通じた平和啓発事業を行なう。

2023 年 2 月に発生したトルコ・シリア地震では、シリア北西部を対象に緊急物資配布、現金給付、被災した小中学校校舎の修繕を実施。運営支援をしている幼稚園に通う児童、保護者、教員を対象にした心のケアにも注力している。

■ 今回実施した活動の概要* 400 字以内

弊会がトルコとシリアで実施している教育事業の質の強化のため、第三者のシリア人にプロジェクト管理のコンサルティング、モニタリングを依頼。事業地であるトルコのガズィアンテップ市在住のシリア人ヨーセフ・アルファーリス氏と業務委託契約を結び、提携団体スタッフと共に定例のオンラインミーティングを実施し、事業管理、改善提案を行う。また、外国人が入域できないシリア北西部の事業地におけるモニタリング・報告を実施した。

また、2023 年 2 月に発生したトルコ・シリア大地震によって活動地が被災したことを受けて、代表理事中野と職員の鈴木が 7 月にトルコへ出張。地震後の最新の被災・復興・活動の状況を把握し、寄付訴求のための情報発信を強化した。さらに、現地のシリア人 NGO 団体を訪問し活動のヒアリングを実施した。

■ 成果 * 400 字以内

ヨーセフ氏との定期的なミーティングの実施により、プロジェクトの進捗管理の精度が高まっている。IPTT と呼ばれる国際基準の事業評価指標を用い、事業のインパクトを高めるアドバイスをいただくほか、予算の妥当性についても確認を行っている。また、シリア北西部で運営支援する SAKURA 幼稚園を訪れモニタリングを実施した。ヨーセフ氏による評価レポートが提出され、モニタリングの結果、幼稚園の設備の安全性等の指摘があり、改善への取り組みが始まっている。

中野・鈴木のトルコ出張においては、活動地であるガズィアンテップの補習校を訪問し、長引くシリアの戦争やトルコ政府の方針により、シリア人を取り巻く状況が悪化していること、ニーズが変化してきていることが確認できた。受益者の家庭訪問も行い、事業の成果を発信するための素材を獲得し、ファンドレイジングに繋げることができた。また、シリア人 NGO を訪問し、新規事業の足掛かりとなる関係性を構築することができた。